



(2021. 10. 26)発行

学校法人 帯広葵学園

沢山の動物たちから熱烈歓迎

所長 柴田 裕

10月1日は春に予定していた3所合同の動物園見学がやっと実現、朝から晴れ、今年動物園に仲間入りのアメリカバイソン、人気者のシロクマ、キリン、フラミンゴなどを観察した他、ヤギに直接接触れることも出来ました。

お昼は、芝生の上で、それぞれ愛情があふれるお弁当をニコニコしながらおいしく食べました。

5日は、東士狩保育所が1年ぶりに東士狩小学校の運動会に参加しました。

当日は肌寒い中、メイク・ユー・ハッピーの曲に合わせた遊戯や徒競走、ジェリーの冒険（リレー）にも挑戦しました。

年長児10名が卒園記念用に製作した泥だんごは、6日から15日までの期間、音更町図書館において帯広葵学園全作品の展示の中で披露しました。

12日は、緑陽台認定こども園を会場に歯科検診が行われ、泣く子もおりましたが、無事終了しました。

19日は、鹿追消防署を見学してきました。

実際に消防自動車に乗り込み敷地内を走行したり、救急車の中に入り室内の様子や機材の説明を受けたり、最後に園児全員がヘルメットと消防服に身を包み、一人ずつ放水し消火活動を体験しました。

園児からの質問に、出動する際の消防服への着替えにどのくらいの時間を要するか実際にストップウォッチで計った結果、37秒とその速さに驚いていました。

最後に、消防署の清水さんから「火遊びは絶対にしないで下さいね」とお願いがあり、園児全員で「はい」と大きな声で約束をしてきました。

《西中音更》



《南中音更》



《東士狩》



—冬に向けて—

10月に入り、音更十勝では感染予防の徹底、ワクチン接種が進み新型コロナウイルスの感染者の発表がない日が続いておりますが、現在、新型コロナウイルスに関する北海道の秋の再拡大防止特別対策では、三つの密（密閉・密集・密接）、感染リスクが高まる感染リスクが高まる5つの場面等の回避や人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指消毒、換気をはじめとした基本的な感染防止対策の徹底が求められております。

保護者の皆様におかれましては、冬の到来とともにインフルエンザに対する予防も含め、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。